

# 子会社と連携した農機レンタル事業の展開

いび川農協(岐阜県)

## 取組の背景

- 解散する集落営農組織から農地を引き受け、地域の農業を守ることを目的に、平成14年に有限会社サポートいびを設立。担い手がない地域を中心にリタイヤする農家から農地を引き受け、現在約380ha農業経営を行っており、予備機を含む多くの農業機械を所有している。
- 地域営農ビジョンを策定する中で、組合員の高齢化、後継者不足や農機更新時の離農が進展する中で、生産費の2~3割を占める機械の償却費を軽減するため、組合員からレンタル農機の要望が上がっていた。



## 取組の概要

- サポートいびが保有する予備機の大型トラクターや田植機、コンバインの他、農協が作付けを推進している加工業務用キャベツや玉ネギの畝たて機や苗の定植機、管理機等を地域貢献と未稼働時の有効利用策として希望者に貸出する取組を開始。
- 繁忙期等はサポートいびとレンタル希望者の作業時期が重ならないように、TAC等と連携し、作付け計画や作付品種を誘導する等、計画的な生産が行えるよう調整を行っている。
- なお、大型のコンバインは作業に慣れた従業員付きで貸出を行っており、労務費の低減にも役立っている。



## 成果

### A集落営農法人の水稻生産費のうち農機具費の比較(10aあたり)

※稼働率が低く汎用性が低い田植機とコンバインのみに着目した試算

農機所有の場合	29, 526円	レンタル農機の場合	4, 900円
<b>レンタル農機の実績</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
レンタル台数	0台	8台	23台
レンタル農機作業面積	0ha	24.8ha	48.9ha
<b>加工業務用野菜の実績</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
作付面積	7.8ha	13ha	16.9ha
販売額	830万円	1,225万円	1,801万円